

早明浦ダムだより

早明浦ダム
ホームページ

↑スマホはこちらから

祝 早明浦ダム管理開始50周年



水資源機構

早明浦ダムを中核とする吉野川総合開発では、四国四県に農業用水・水道用水および工業用水を供給するとともに、早明浦ダム等により洪水調節を行うもので、あわせて甚大な洪水被害が頻発する吉野川下流では、築堤等の治水事業の進捗が図られてきました。

吉野川総合開発では、早明浦ダム・池田ダム・新宮ダム・富郷ダムのダム群と、高知分水・香川用水・吉野川北岸用水・旧吉野川河口堰・今切川河口堰の水利施設が建設され、令和7(2025)年度に主要施設である早明浦ダム・池田ダム・新宮ダムが管理開始から50周年を迎えました。

早明浦ダムは、管理開始から50年間、四国四県へ水を送り続けるとともに、延べ129回の洪水調節を行い、洪水被害の軽減を図って来ました。

早明浦ダムを建設し、管理・維持していくためには、水源地域である嶺北地域の方々のご理解、ご協力が欠かせないものでした。

私たちの利用する水を守っていくためには、水源地域との交流を通じて、私たちひとりひとりが水源地域の方々に対する理解とつながりを深め、様々な面で協力していくことが大切と考えております。

引き続き、嶺北地域の振興、適切なダムの管理・運用を行って参りますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。



ダム建設前の吉野川

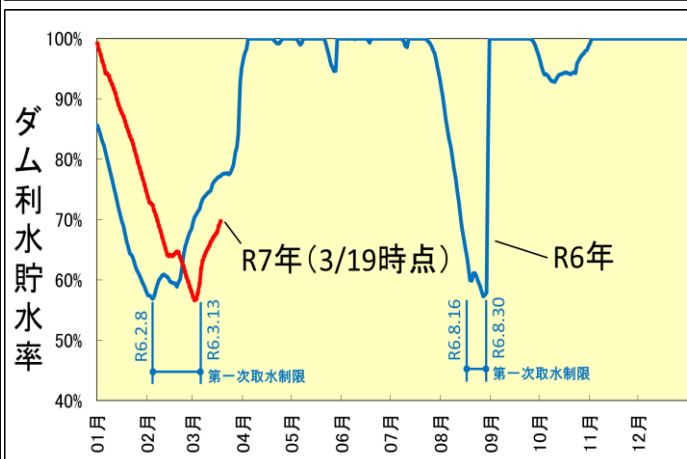


ダム建設中の早明浦ダム(昭和45年頃)

【3月19日時点】

利水貯水率：70.2% (常時満水位：約-15m)
吉野川 (池田地点上流降雨量)

10～12月	335.4mm	(平年値426.9mmの78.6%)
1月	33.6mm	(平年値 74.3mmの45.2%)
2月	45.3mm	(平年値113.7mmの39.8%)



水がピンチ！！節水のご協力を！！

令和6年度の早明浦ダムの流況は、4月より、利水貯水率は高めを推移しておりました。クレストゲートからの放流は、洪水調節を含めて4回となっており、例年並みの回数となりました。

8月には、梅雨時期の少雨傾向より、8月16日より15日間、第一次取水制限が実施されました。

その後、台風10号の影響により利水貯水率は回復したものの、ダムから下流水利用の不足分の補給を行ったことと、秋から冬の少雨傾向が続いたことから貯水量が減少し、令和7年2月15日より徳島用水で自主節水をしております。3月初旬の降雨により、利水貯水率はやや回復しておりますが、低い状況が続いております。

今後も降雨や貯水量、水質の状況に注視しつつ、ダムの運用管理に努めてまいりますので、皆様におかれましても、節水へのご理解・ご協力をお願い致します。

【お知らせ】

令和7年4月1日より、(旧)池田総合管理所は、現場組織の再編に伴い、新組織として名称が変わりました。

(新名称)吉野川上流総合管理所

水資源機構

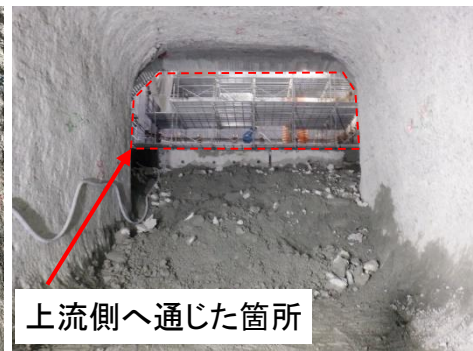
★ 早明浦ダム再生事業 工事進捗状況報告(3) ★

【増設洪水吐き工事】

3本の放流管を設置するための堤体^{あな}に孔を開ける作業を令和6年11月から行っていましたが、最初の1本目の孔^{あな}が上流側に通じました。長さは約40mあり、途中では、元々ダム水位を測っていた管などがありましたが、ダム堤体に影響の無いように慎重に進め、最後の1mはコンクリートを細かく分割して丁寧に取り出しました。

あな
孔開け作業状況あな
孔開け時の内部

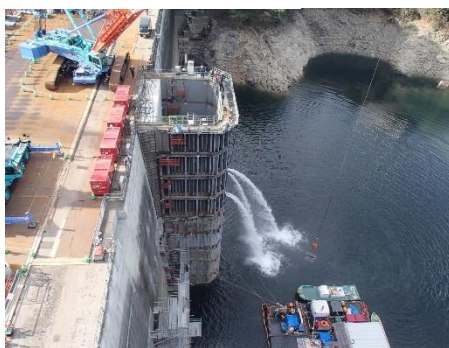
水位観測していた管



上流側へ通じた箇所

【上流仮締切設備工事】

上流側では、工事中にダムの水が下流に流れないようにする蓋（扉体^{ひたい}という）の全3箇所中1箇所目の設置が完了し、扉体^{ひたい}の中の水をポンプで汲み出して作業ができる状態になりました。今後は扉体^{ひたい}の中で水を止めるためのゲートの設置やステンレス製の放流管^{ほうりゅうかん}の設置を始める予定です。また、扉体^{ひたい}の中での作業が安全に行えるよう酸素濃度^{さんそ のうど}や扉体^{ひたい}にかかる水圧^{すいあつ}などの力の大きさを24時間測っています。

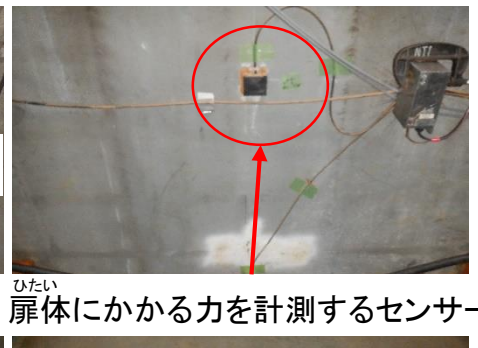
ひたい
扉体内の水抜き状況ひたい
水抜き後の扉体内の様子

上側

貯水池側

ていだい
ダム堤体

下側

ひたい
扉体にかかる力を計測するセンサー

★トピックス 駅伝大会に参加 ★

令和7年1月12日に土佐町、2月2日に本山町で開催された駅伝大会に職員でチームをつくって参加しました。当日まで十分な練習ができていませんでしたが、地元の皆様のあたたかい声援のおかげで無事完走することができました。

